

## MTP2026の進捗

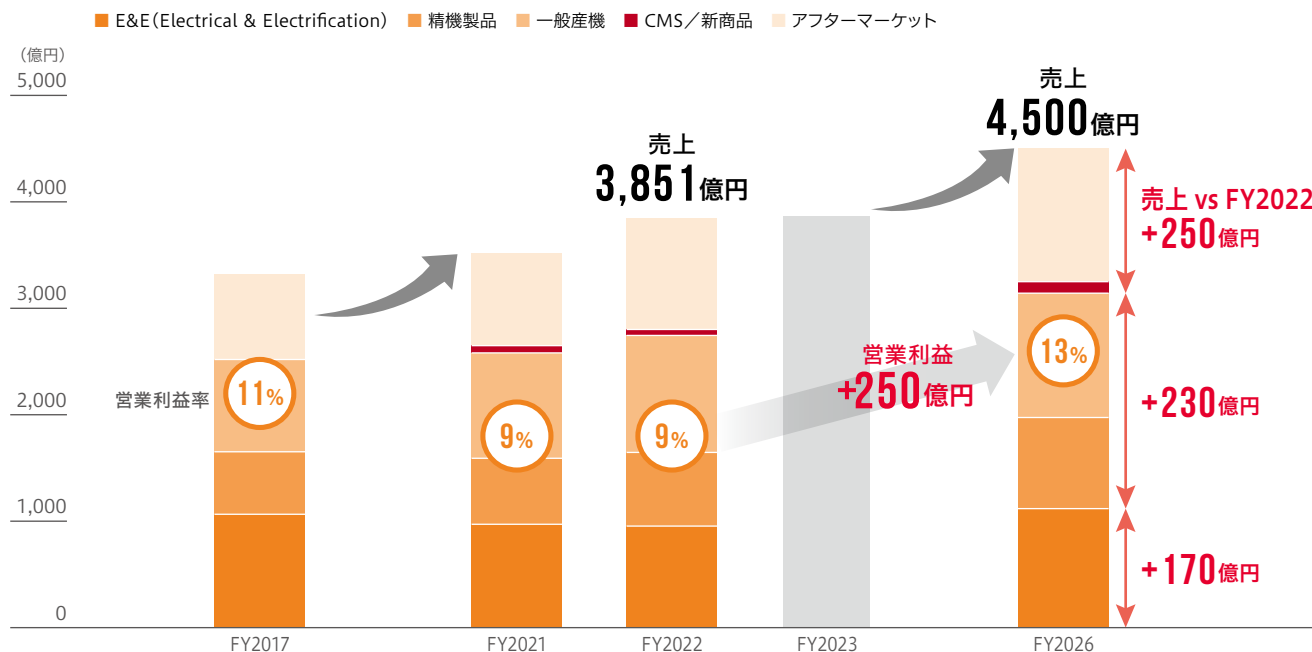
⊙ 電動化、自動化、デジタル化、環境市場を狙う戦略を継続し、産業機械事業比率50%を目指す

⊙ 供給能力の確保と技術サービス体制の強化を進める

FY2026目標 | 売上 4,500億円 / 営業利益率 13%

産業機械事業では、FY2026に売上高4,500億円、営業利益率13%の達成を目指しています。電動化、自動化、デジタル化、環境市場の拡大が中長期的に見込まれており、NSKがこれまで以上に成長できる機会が訪れています。セクター別では、工作機械、ロボット、半導体製造装置向けを中心に引き続き拡大を狙っていきます。さらには、アフターマーケット向けのビジネスはCMS(状態監視システム)の活用を含めた拡販を推進していきます。NSKが市場において強みを持っている精密軸受や精密ボールねじをはじめ、高収益ゾーンの拡大を図るとともに、E&E事業の再編も含めた資産効率の向上で収益性改善を進めていきます。

## 産業機械事業売上成長イメージ



## FY2026目標達成に向けて

- ⊙ 高収益ゾーン(アフターマーケット・精密)拡販
  - アフターマーケット売上 FY2026に1,300億円へ
    - ・CMS、BKVシナジーによる拡大
  - 工作機械・ロボット・半導体製造装置
    - ・多軸化、精密化、環境対応技術製品の高収益受注
    - ・増強による供給能力のアップ
- ⊙ E&E構造改革による資産効率の向上で収益改善
  - 欧州を起点に前工程を含めたグローバルの生産再編
  - 既存能力の最大化
  - 生産性向上と不採算品からの撤退
- ⊙ インフレへの確実な売価転嫁

## FY2022の振り返りと今後の見通し

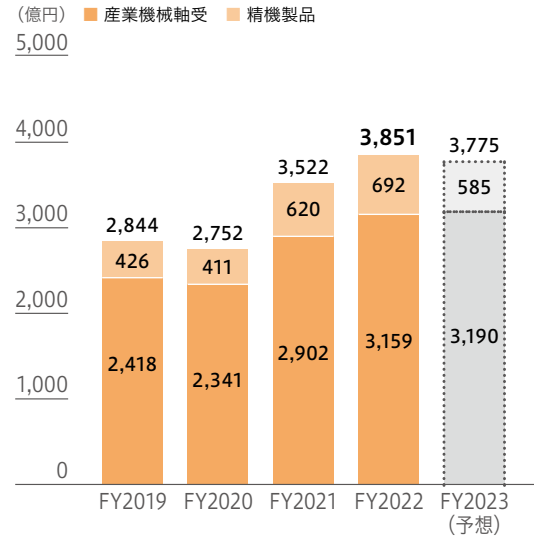
FY2022前半は半導体市場と電動化および自動化関連を中心とした設備投資が堅調に推移しました。足元では先行き不透明感を受けて需要が低迷したものの、売価転嫁の推進と為替影響もあり、当連結累計期間は対前期比で増収となりました。

地域別では、日本および米州はアフターマーケットや半導体製造装置向けを中心に需要が増加しました。欧州ではアフターマーケットや工作機械向けの販売が増加し増収となりました。中国はゼロコロナ政策に伴う厳格な活動規制により生産活動が停滞した影響を受けたものの、工作機械向けなどの増加や為替影響により増収となりました。

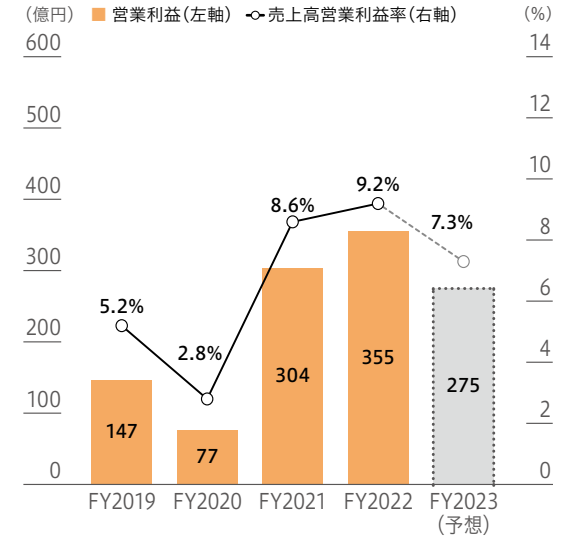
この結果、産業機械事業の売上高は3,851億3百万円(前期比+9.3%)、営業利益は355億41百万円(前期比+17.1%)となりました。

当事業では、成長が期待できる電動化、自動化、デジタル化、環境市場での需要増加を取り込むため、供給力の強化と技術サービス体制の強化を進めています。さらに、状態監視システムやアクチュエータ【[口用語集](#)】など新たな高付加価値商品の開発と市場投入も推進することで、産業機械事業のビジネス拡大を目指していきます。

### ■ 売上高推移



### ■ 営業利益・営業利益率推移



※ 売上高、営業利益はFY2022にCMS本部を設立したことによりセグメント変更を実施しています。(その他から産業機械事業へ変更) これにより、FY2021にさかのぼって新区分で表示しています。

## TOPICS

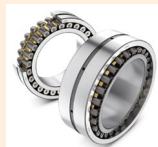
### 持続可能な社会の実現に貢献するNSK製品

NSKは、お客様や社会のニーズを的確に捉えながら、持続可能な社会の実現を目指しています。

電動化・自動化によるモノづくりの生産性向上の実現に加えて状態監視や予知保全にとどまらず補修や再利用までを組み合わせた循環型社会の実現、そしてカーボンニュートラルの実現などに貢献するため、NSKは製品・サービスの開発に日々取り組んでいます。



常時監視システム



風車用軸受



鉄道用アクチュエータ



バイオマスプラスチック  
保持ピース



ボールねじ



深溝玉軸受



ドローン用軸受